

筑波大学

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター

近年、法定雇用率の引き上げが追い風となって、障害学生が応募しやすい「障害者枠」の求人が増えているのは喜ばしいことです。しかし、ダイバーシティの推進が叫ばれているこれからの社会に求められるのは、障害の有無に関係なく各個人が最大限のパフォーマンスを発揮できる職場環境なのではないかと考えます。

筑波大学の卒業生は、障害の有無という垣根を越えて、自らの能力を積極的に活用していきけるような職業を選択しています。そこで本学としては雇用主様に、学生の持つ長所や能力を活かしていくためのマネジメントの役割を期待したいと考えております。このように個人の能力に応じた適材適所を実現することこそが、現代における本学の意味での「働き方改革」と言えるでしょう。

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長



ダイバーシティ

- LGBT等に関する相談
- 男女共同参画 等

アクセシビリティ

- 障害のある学生の修学支援

キャリアサポート

- キャリア支援・就職等



筑波大学では、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（DACセンター）を中心に、各教育組織、事務組織等と連携をしながら障害のある学生への修学支援を行っています。

障害学生のキャリア支援・就職支援（インターンシップの支援を含む）については、DACセンターが学生部就職課と連携しつつ行っています。

DACセンターでは、障害学生対象のキャリア・就職支援企画も開催しています。社会人として活躍しているOBOG等を招いてお話を聴く就職支援講座や、気軽な雰囲気の中で参加者との話し合いを通じて自己理解を深めるキャリア座談会などのイベントを行い、障害学生のキャリアを考えるお手伝いをしています。さらに、障害学生の就職支援に関わる学外リソースへの情報発信等も行っております。

卒業生の進路：

他にも多数の企業や自治体に就職しています！

企業

株式会社NTTデータ
 キヤノン株式会社
 株式会社総合車両製作所
 東洋紡株式会社
 soam.ICT株式会社
 株式会社サントリー
 株式会社ジェーシービー
 株式会社筑波銀行
 株式会社産業経済新聞社
 日本赤十字社
 TOTO株式会社
 株式会社ツムラ
 株式会社資生堂
 協和発酵キリン株式会社

株式会社リロケーション・ジャパン
 株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル
 富士通エフ・アイ・ビー株式会社
 ソフトバンク株式会社
 ヤマト運輸株式会社
 株式会社VOYAGE GROUP
 株式会社システムインテグレータ
 新潟原動機株式会社
 ソニー株式会社
 第一実業株式会社
 NECソリューションイノベータ株式会社

公務員等

茨城県立つくば特別支援学校
 埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
 国立大学法人筑波技術大学
 福島県立視覚支援学校
 岡山県教員
 愛知県教員
 慶應義塾大学研究員
 立命館大学研究員
 会計検査院
 横浜市役所
 東京消防庁
 国立研究開発法人産業技術総合研究所

問い合わせ：

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター

【アクセシビリティ担当】 TEL: 029-853-4584 E-mail: shougai-shien@un.tsukuba.ac.jp

【キャリアサポート担当・就職課】 TEL: 029-853-6091 E-mail: syushokuka@un.tsukuba.ac.jp

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

スチューデントプラザ（第一エリア1D棟）2階

開室時間：月～金 8:30～12:15 / 13:15～17:15 FAX: 029-853-2257

障害学生を雇用している 雇用を考えている皆さまへ

本学卒業生を雇用してくださっている雇用主さまの声

01 ソフトウェア・通信業界 トランスコスモス株式会社 (OBOGの障害種別：聴覚障害)

Q1. 筑波大学の障害学生OBOGとの業務上の関わりについて教えてください。

上司と部下の関係です。Kさんは当社に入社後、障がい者を採用する採用研修課に配属となり、採用のバックオフィス業務（採用に関わる事務業務）をメインに担当してもらっています。スタッフが少ないこともあり、入社後の早い段階で仕事のレクチャーを私から行いました。現在では課内でも一緒に業務を行うことが多く、確認・連絡などを相互に行っています。

Q2. 障害学生OBOGの就職前後で印象は変化しましたか？

入社して2年経過し、良い意味で変化したと感じます。採用バックオフィス業務は問題なく対応出来るだろうという期待は最初からありましたが、聴覚障がい学生のインターンシップ受入対応やイベント時の説明などフロント業務も早い段階で対応してもらい、当初の想像をはるかに超えて幅広く活躍してもらっています。ゆくゆくは本人のやりたい障がい社員のサポート・研修にもチャレンジしてほしいと思います。

02 金融業界 Bloomberg L.P. Global Data (OBOGの障害種別：発達障害)

Q1. 筑波大学の障害学生OBOGとの業務上の関わりについて教えてください。

現在私が責任者を務めるチームと一緒に仕事をさせて頂いております。チーム内の幾つかの業務の担当者となり、また突発的な業務も処理していただいているため、業務依頼や進捗報告など日々コミュニケーションを取りながら私を含め他のチームメンバーと協業しています。

Q2. 障害学生OBOGと一緒に働いてみての率直な感想をお聞かせください。

できるだけ適切なサポートができるように、障害について知っておくことは必要だと思いますが、実際どんな人でも苦手なもの得意なものがあり、一緒に仕事をする上で相手の得意・不得意なものを理解することは、良いアウトプットを出すためには欠かせません。なので、障害の有無によって日常業務の中で常に特別意識しなければいけないといったことはほとんどないのかなと思います。

03 ソフトウェア・通信業界 日本アイ・ビー・エム株式会社 (OBOGの障害種別：聴覚障害、運動・内部障害、発達障害)

Q1. 筑波大学の障害学生OBOGとの業務上の関わりについて教えてください。

IBMでは障害の有無に関係なく、社員は自立して仕事をするのが求められるので、特に入社後に人事がフォローすることは、本人からの要望がない限りはありません。障害のある社員も皆、営業、ITスペシャリスト、研究員など、何らかの専門職を持ち活躍しています。

Q2. 障害学生OBOGの就職前後で印象は変化しましたか？

ここ数年、障害のある学生向けの長期インターンシップを実施しており、筑波大のOBOGもインターンシップを経て入社しています。多くのインターン生はインターンシップ期間中に様々な経験をして大きく変化します。最初は消極的で俯きがちですが、堂々と自分の障害について話をするようになり、キャリアについても意欲的になります。

Q3. 障害学生OBOGと一緒に働いてみての率直な感想をお聞かせください。

インターンシップに参加した学生が、正社員や契約社員など様々な形でIBMに入社しています。筑波大学ではピア・チューター制度があり、学年を超えて障害のある学生同士が相談したり、ネットワークを構築する環境があるせいか、男性も女性も、気持ちの強く、思いやりがあり、明るいムードメーカーが多いという印象です。